



《将来に向けた取組方針》

グループの経営理念である「グループビジョン」に基づき、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを「サステナビリティアクション」として積極的に推進している。また、特に環境については「西武グループ環境方針」を策定し取り組みを進めている。環境方針では、①温室効果ガス削減などによる気候変動緩和、②廃棄物の削減などによる循環型社会への貢献、③安全な水資源の確保、④森林や生物多様性の保全、等の当社事業において重点的に対応が必要と考えられる課題を掲げ、グループ全社において積極的な対応を図っている。

〈具体的取組み事例〉

●自治体等と連携した 森林・水源の保全活動

西武鉄道では、総面積130haの「飯能・西武の森」を行政・市民団体とともに保全。2017年に都市緑化機構が実施するSEGESにおいて最高位認定。プリンスホテルでは、事業エリアである5自治体と連携し、植林等の森林保全活動を進めるほか、販売しているミネラルウォーターの売上の一部を取水地自治体（新潟県南魚沼市）へ寄付（累計1,000万円）環境保全に活用いただいている。



●緑化の推進および普及啓発

西武造園では“人”と“みどり”の環境創造サービス企業として、特殊緑化技術の開発、普及、造園工事業として緑地空間の創出、約2,490haの都市公園等の管理運営、環境教育プログラムを実施することで緑化推進・保全に貢献。



●児童教育活動

横浜八景島では、次世代を担う子どもたちが生物多様性や地球温暖化について学び、海とふれあい、海を知るためのプログラム「シーパラ子ども海育塾」を実施。



〈今後の課題等〉

西武グループ環境方針に基づき、森林保護、水資源の確保など生物多様性への活動を継続、また社会課題であるCO₂排出量削減や廃棄ロス削減、プラスチック削減に向けた取り組みを加速。また、これら社会課題への対応をビジネスチャンスととらえ、収益機会に結び付ける。